

2015年11月21日付の韓国の新聞(中央日報日本語電子版)に、日本の古地図を示して竹島は韓国領だと主張した記事が載った。

「江戸時代の有名な地理学者・林子平が製作した1802年版『大三国之図』」には、「黄色で塗られた朝鮮国の右側の海に鬱陵島と独島を並び、同じ色を塗って両島を朝鮮領土に含めている。大きな島には当時の日本の鬱陵島の呼称である「竹嶋」、小さな島には当時の独島の呼称だった「松嶋」が表記されていて、その隣に「朝鮮の

もの(朝鮮ノ持之)」という説明までついている」というのである。写真参照。

「大三国之図」は林子平死後、加筆・修正されたものである。鬱陵島らしきものが二つあり、「松嶋」は本当に現在の竹島なのかといった疑問もあり、この記事はそのまま信用できない。「大三国之図」については、船杉力修氏が『島嶼研究ジャーナル』最新号で詳しく検討している。

談論

spirited discourse

風発

▷▷513

竹島を考える

「境界」の問題なのか

藤井 賢二

戦略安全保障研究所
日本安全研究所



「大三国之図」に描かれた竹島(日本古地図選集より)

信用できない。「大三国之図」については、船杉力修氏が『島嶼研究ジャーナル』最新号で詳しく検討している。先日、この記事を目にした友人が「真偽や解釈のほどは、どんなものなんでしょうか」と問い合わせてきた。林子平の地図は

幕府公認の地図ではないかと返信があった。内容は「間違った絵図」として著者が処罰されたこと。領土問題を解決するための資料である

「大三国之図」に描かれた竹島(日本古地図選集より)

友人は、「しかし、林子平がそのように誤りであっても認識していたほど、微妙な境界の問題ではないか。だからこそ、現在まで引きずっているという

「大三国之図」に描かれた竹島(日本古地図選集より)

「大三国之図」に描かれた竹島(日本古地図選集より)

「大三国之図」に描かれた竹島(日本古地図選集より)

「大三国之図」に描かれた竹島(日本古地図選集より)

「大三国之図」に描かれた竹島(日本古地図選集より)

「大三国之図」に描かれた竹島(日本古地図選集より)

「大三国之図」に描かれた竹島(日本古地図選集より)

「大三国之図」に描かれた竹島(日本古地図選集より)

「大三国之図」に描かれた竹島(日本古地図選集より)

「大三国之図」に描かれた竹島(日本古地図選集より)

「大三国之図」に描かれた竹島(日本古地図選集より)

「大三国之図」に描かれた竹島(日本古地図選集より)

「大三国之図」に描かれた竹島(日本古地図選集より)

「大三国之図」に描かれた竹島(日本古地図選集より)

「大三国之図」に描かれた竹島(日本古地図選集より)

「大三国之図」に描かれた竹島(日本古地図選集より)

「大三国之図」に描かれた竹島(日本古地図選集より)

「大三国之図」に描かれた竹島(日本古地図選集より)

「大三国之図」に描かれた竹島(日本古地図選集より)

「大三国之図」に描かれた竹島(日本古地図選集より)